

授業体験 Day 模擬授業内容

アジア太平洋学部

- 1) 授業テーマ：Globalisation of Tourism and Hospitality – Implications for Japan's Internationalisation of Tertiary Education (英語授業)

担当教員：BUI Thanh Huong

授業内容：グローバル競争の中、日本の大学にとっても高等教育の国際化は生命線といっても過言ではありません。英語での履修を可能にし、より多くの留学生を惹きつけるだけでなく、キャンパスの多様性を高め、自国出身の学生の国際化教育につなげています。また、観光・ホスピタリティ産業においても、グローバル化が進み、日本の旅行代理店も様々な戦略を取っています。この授業では、グローバル化の実情や日本の高等教育の国際化についてお話します。ディスカッションを通して、これらの国際化が日本にどのような影響を及ぼしているかを、より深く学んでいただきます。

- 2) 授業テーマ：ファッション広告におけるグローバリゼーション、ジェンダー、ヨーロッパ中心主義 (日本語授業)

担当教員：井口 由布

授業内容：ファッション・ブランドの広告に白人女性のモデルが多いのはなぜでしょう？私たちが「きれい」「おしゃれ」「かっこいい」と思う気持ちは自然なものなのでしょうか？この授業では、ファッション・ブランドの広告を手掛かりに現代社会における「あたりまえ」をグローバリゼーション、ジェンダー、ヨーロッパ中心主義という観点から読み解きます。私たちが当たり前と思うことを疑ってみましょう。

- 3) 授業テーマ：「対外交渉力を支えるチームワーク」(日本語授業)

担当教員：佐藤 洋一郎

授業内容：「交渉」は人間の社会生活の根幹にある事象ではありますが、政治やビジネスといった世界では、国家や企業といった集団の間の関係の構築や調整における重要な役割を担っています。集団間の交渉では、直接の話し合いにかかわる交渉者以外にも、その陰で様々な準備を行い、サポートを提供する多くのスタッフが関わっています。この授業では、「反転授業」の形をとり、学生小グループ間での簡単な模擬交渉を体験してもらった後、交渉チームの運営についての基礎知識に関する授業を、Q&Aを交えながら双方向的に行います。

国際経営学部

- 1) 授業テーマ：What is CSR (Corporate Social Responsibility)?: Profit vs. Responsibility
(英語授業)

担当教員：KIM Rebecca Chung Hee

授業内容：会社の社会的責任、社会貢献とも訳されることの多いCSRについて授業を行います。会社は、利益と責任をどのように考えて経営活動を行っているのでしょうか。今までの見方と異なる視点で「会社」のことを考えてみませんか？英語力に自信のある方だけでなく英語で行う授業に興味のある方もチャレンジしてみてください。

- 2) 授業テーマ：社会的企業とミッションマネジメント（日本語授業）

担当教員：上原 優子

授業内容：従来の社会で発展してきた営利企業・非営利組織の枠を超えて、時代が抱える課題に果敢に取り組む社会的企業が今注目されています。この授業では、その社会的企業が最も大切にすべきミッションと、そのミッションを中心にどのように組織を運営すべきかについて学びます。

- 2) 授業テーマ：カップヌードルとコープヌードル～企業の価格設定戦略～（日本語授業）

担当教員：大塚 宏蔵

授業内容：学割やセット料金など、企業は様々な価格設定を行っています。

どうして企業はこのような価格設定を行うのでしょうか。

この模擬講義では企業の価格設定の裏側を経済学の観点から考えます。

言語科目

1) 授業テーマ：日本語教授法 ―日本語を教えるってどんなこと？（日本語授業）

担当教員：本田 明子

授業内容：この授業では「日本語を教える」とはどういうことかを具体的に考えていきます。日本語をまったく知らない人に日本語を教えるとしたら、まずなにかから始めるのか、APUの日本語クラスのやり方や学生が困難を感じる点などを紹介しながら、日本語の教え方を具体的に考えます。それをおして、自分にとって当たり前のことが、異なる言語を話す人にとっては当たり前ではないことや、ことばと文化の関係についても考えたいと思います。

2) 授業テーマ：日本語教育のための日本語学 ―日本語「を」考える（日本語授業）

担当教員：本田 明子

授業内容：「日本語を教える」ためには、日本語についての知識が必要です。日本語が話せれば知識はもう十分にあると思うかもしれませんが、けれども、いざ人に教えるとなるとむずかしいものです。この授業では、日常のさまざまな場面の日本語を例に挙げ、日本語を客観的に観察してみます。それにより、日本語の思いがけない面に気づいたり、新たな面を知ったりして、日本語ということばの持つむずかしさやおもしろさを考えたいと思います。

3) 授業テーマ：APUの国際的な学習環境の中での韓国語クラス

担当教員：Kim Inhye

授業内容：APUでは多文化環境という特色を活かして言語教育を行っています。外国語クラスで言語を学び、その国の人にすぐ使える機会がたくさんある環境を、体験してみませんか。APUの言語クラスではその言語のネイティブの学生スタッフが、皆さんの外国語学習をサポートします。この授業では韓国語の文字（ハングル）を使って自分の名前が書けること、そして韓国語で自己紹介できることを目標とします。この授業で学んだことをネイティブスピーカーの学生に直接使ってみましょう！